

## 8. 四天王寺の見どころ（4）その他の建造物・史跡

### 1) 石舞台【重要文化財】

六時堂前の「亀の池」に架かる石橋に組まれた石舞台は、毎年4月22日の聖徳太子の命日法要「聖霊会舞楽大法要」の際に奉納される舞楽の舞台となります。



四天王寺の石舞

台は、住吉大社の石舞台、巖島神社の平舞台と共に「日本三舞台」の一つとされ、重要文化財に指定されています。

聖霊会は、国の重要無形民俗文化財の指定を受ける、四天王寺でもっとも盛大な法要で、古式ゆかしい舞楽は必見です。

### 2) 石鳥居【重要文化財】

石ノ鳥居

大阪市天王寺区にある日本最初の官寺・四天王寺（聖徳太子建立七大寺のひとつ）。中心伽藍の西側、西門のさらに外側に立つのが石鳥居。

鎌倉時代の永仁2年（1294年）、それまであった木造鳥居を、忍性

（にんしょう）上人が石造鳥居に取り替えたもので、神仏習合の名残が感じられる場所です。

国の重要文化財で、現存する最古の石造鳥居となっています。



鳥居上部の嘉暦元年（1326年）鑄造の扁額には「釈迦如来 転法輪処 当極楽土 東門中心」と記され、この地が釈迦如来が仏法を説いている場所で、ここが極楽の入口であるとの意です。

西の海に沈む夕陽を拝む場所で、現世から西方極楽浄土に通じる救いの門として信仰されてきました。